

地域おこし協力隊「士業資格取得プログラム」

🎯 目的

地域に根差し、地元住民・事業者の法務・行政手続を支える「地域の代書屋」として活躍できる人材を育成し、協力隊終了後も定住・起業・貢献を可能にする。

📅 年度別プログラム構成

■ 第1年目：地域適応・自己分析・基礎学習期

- 地域活動：見守り・買い物支援など共通ミッション＋地域行事参加等
- キャリア適性診断：士業向きの資質を判定（論理性・持続力・地域貢献志向）
- 士業オリエンテーション：行政書士・社労士・宅建士等の概要と地域ニーズ
- 基礎勉強開始：通信講座（行政法・労働法等）の入門編スタート

■ 第2年目：士業資格の本格的学習期

- 通信・オンライン講座：本格カリキュラム（約300～500時間相当）開始
- 模試・勉強会：定期模擬試験＋他自治体隊員とのZoom勉強会
- 地域課題と関連付け：農業法人就業規則作成、空き家相続相談など実習

■ 第3年目：資格取得・実務準備期

- 資格試験：行政書士・社労士等の国家試験にチャレンジ
- 実地見学・OJT：地元の行政書士や社労士、司法書士事務所で実習
- 自営業計画：任期後の開業・就職シナリオを支援（事業計画書作成）

■ 第4年目以降：地域の「士業」として定着

- 地域密着型開業：高齢者の遺言・相続、農業法人支援、空き家対策など地域課題対応型業務
- 行政・地域と連携：市町村窓口や地域包括支援センターと連携して活動
- 後輩隊員の育成：後継者・後輩への講話・サポートも期待

- 自治体にとっては、地元密着の士業が増えることで行政相談・申請支援が身近に。
- 空き家、相続、農業法人支援など地域課題の即応体制が強化される。
- 協力隊員は安定収入と専門職キャリアを両立しながら、地域での定住・自立が可能に。